

六甲高山植物園 高山植物の女王「コマクサ」が見頃です

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が、六甲山上で運営を行っている「六甲高山植物園」では、高山植物の女王「コマクサ」が見頃を迎えています。

当園のシンボルマークにもなっている「コマクサ」は、高山植物の女王と称される象徴的な花です。今年は暖かい気温が続いたため、例年よりも1週間早く開花しました。神秘的な瑠璃色の葉と、あでやかな桃色の花との調和が素晴らしく、高山帯に行かなければなかなか見ることのできない貴重な花です。園内では、高山帯を模したロックガーデンで約150株のコマクサを植栽しています。



◆コマクサ(ケシ科)

北海道、本州(中北部)に分布する日本の高山植物を代表する花です。高さは約10cm、花は径約2cmですが、地中に伸びる根は、1mにもなります。他の植物が生育できないような岩場に、どの草とも一緒にならず孤高を守りながら、生育しています。その姿から、“高山植物の女王”と称される象徴的な花です。和名は、どことなく花が「子馬の顔」に似ているので「駒草」と名が付いています。コマクサの群落は、当園の大きな名物の一つです。当園に咲く「コマクサ」は、6月中旬ごろまでお楽しみいただける見込みです。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月19日(土)～11月23日(水・祝) 【休園日】9月1日(木)、8日(木)

【開園時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳～小学生)310円/シニア(65歳以上)520円